

2022年4月1日

社会福祉法人ぶる一む  
令和4年度事業計画書

1. ぶる一むの理念

社会福祉法人ぶる一むは、「障がいを持った子どもたちの自立と、そのご家族の笑顔をサポートし続ける」ことを理念に事業運営をしています。

ハンディを抱えたご利用者の皆さんにたくさんの人たちと出会ってほしい。出会いの中で、その手の暖かさをたくさん感じてほしい。安心して身を委ねられる場所、そしてそれがお母さんのあるいはご家族の笑顔へと少しでも結びついていけたらと・・・それが私たちぶる一むの思いです。障がいのある方やご家族にとって心の拠り所となれればと願っています。

2. 主な取組み

21年目を迎えたぶる一むは、持続可能な未来に向け、組織・環境・風土づくりを進めていきます。また新型コロナウイルス対策として、引き続きご利用者とスタッフの安心・安全を第一に感染予防とリスク管理の徹底を図ります。

そして障がい者の地域生活を総合的に支援する拠点としての役割に加え、子どもから高齢者まで障がいがある方もない方も、地域の皆様に必要とされる施設を目指して取組んでまいります。

3. 事業内容

(1) ぶる一むの森

〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

○ 児童発達支援ひだまりっこ (定員10名)

年少～年長の3学年の就学前の児童の自立心を育むことができるよう、親子分離とマンツーマンの体制により、一人ひとりに合わせたからだづくり・身辺自立など様々な療育プログラムを行います。コロナの収束をみながら、遠足を目標にした活動、地域交流、スタッフ育成、リトミック等に取り組みます。

○ 保育所等訪問支援ココア

保育所等で専門的な支援を必要とする場合に、本人や施設のスタッフに対して支援方法の指導等を行い、地域移行を支援します。

○ 児童発達支援ひだまりっこアルファ (定員5名)

就学前の医療的ケアの必要な方や重い障がいを持った子どもたちが安心して通い、成長できる場所として、一人ひとりに合わせた医療、療育、家族看護の3つが揃った信頼される事業所を目指します。15時まで療育を延長し就労する保護者を応援します。ひだまりっこと一緒に活動してST、PT、音楽療法を取り入れます。

○ 放課後デイサービスひだまり（定員 10 名）

小学1年生から高校3年生まで様々な学校の幅広い年齢の子ども達と一緒に過ごし、遊び、関わる中で社会性を育てます。また保護者にお迎えに来ていただくことで、放課後の時間を長時間有意義に過ごすことができ、季節毎の企画やイベントを通じて、日常生活や社会生活をより豊かに送るための様々なスキルを育みます。そして家では見られない姿を見ていただき、その日の様子をお伝えするなどご家族とのコミュニケーションを大切にしていきます。

○ 放課後デイサービスひだまりアルファ（定員 6 名）

医療的ケアの必要な方や重い障がいを持った方を対象に、一人ひとりにあった遊びの提供、人との関わりを大切に、子ども達がそれぞれの楽しみ方で過ごせ、保護者の方々も安心して通わせることができる場所を目指します。そして個々の日常生活や社会生活をより豊かに送れるように様々な支援を行います。

○ 生活介護オレンジ（定員 20 名）

高校卒業後の18歳以上の方の生活の場として、それぞれの身体機能・体調・精神状態・特性に合わせた活動の充実を図ります。また製菓や製品作りと販売を通じて、社会参加と貢献を行います。そしてご家族の自由参観を定期開催していきます。

○ 日中一時支援くりーむ

レスパイトやご家族の方が介護できない場合に、医療的なケアが必要な方も含めて、一時的にお預かりし、見守り等の支援を行います。

○ ことばの相談室

未就学から就学児まで言語聴覚士の個別指導や研修会を通じて、それぞれのお子さんに合わせたアプローチ、保護者の気持ちによりそった支援を心がけていきます。

○ 研修事業

地域における障がい者の福祉事業等に携わる人材を育成するために、喀痰吸引研修、ガイドヘルパー研修等を実施します。

○ ぶるーむクラブ

子どもたちが気軽に立ち寄れる地域の居場所として、学習支援・食事の提供等を行う「子供食堂」を開催します。コロナ禍は、蜜を避けながら食事の提供のみ行います。あわせて支援が必要なご家族への食材配布も行います。

(2) 児童発達支援ひだまりっこピーチ (定員 10名)

〒277-0084 千葉県柏市新柏3-3-8石塚ビル1階

「異年齢の集まりだからこそ芽生える心」

0歳から3歳まで…ミルクを飲んでいる子から先生と会話できる子まで…

異年齢のそして様々な個性の集まりです。年少の子は年長の子に憧れ慕い、年長の子は年少の子を思いやり可愛がり、家族と離れた時間に育まれるそんな心を大切にしていきます。

(3) 共同生活援助風の木(6室)

〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘1-43-7

外部サービス利用型によるサービス提供の知的障がい者グループホーム

様々な障がいをお持ちの一人一人が、その方らしく過ごせる暮らしの場で、いつも賑やかで騒がしい日常の中にも温かな雰囲気が漂っています。ご利用者が中高年期を迎えつつあり、健康面での細やかな配慮に注力していきます。

(4) ぶるーむの風 (地域生活支援拠点)

〒277-0085 千葉県柏市中原1817番1

○ 共同生活援助ぶるーむハウス (7室)

医療的ケアにも対応できる重度心身障がい者が暮らすグループホーム

①ご利用者と個人契約した重度訪問介護ヘルパーによる生活支援により、個々の利用者により寄り添い、必要な場面でマンツーマンに近い状況で支援できる事が特色。そのことにより、利用者一人ひとりがその方らしく生活できる場所です。

②「かけがえのない一口のため」に一人一人のご利用者に合わせたおいしく楽しく安心安全な食事の提供と食事の介助に取り組んでいます。

③個々のご利用者のペースでゆっくりとした時間を過ごしていただきます。

④ぶるーむの風診療所と連携した、ご利用者の健康管理が特色です。

⑤リフト、ストレッチャーや機械浴槽など支援者の身体的負担を軽減できる環境を整えています。

○ 短期入所ぶるーむハウス (3室)

地域で生活している方が、安心して在宅生活を送ることができるよう、専門性の向上を図り、ご家族ご本人に寄り添います。

○ ぶるーむの風相談室

社会福祉士5人、精神保健福祉士2人、介護福祉士1人、看護師2人の専門資格を持っている、相談支援専門員7人と相談員1名で構成。柏市地域生活支援拠点として、南部地域の福祉ネットワークを担当。24時間365日、コロナ禍における緊急案件等への迅速かつ幅広い対象者への相談支援を行える体制を整えています。また柏市医療的ケア児・者連絡会の事務局運営を通じて、柏市内の支援体制の課題の分析と構築・提言を担います。

### ○ 居宅支援アライブ

ご家族に信頼していただける事業所を目指し、24時間365日、医療的ケアに対応できるヘルパー派遣事業所として、ご家族に寄り添い、他事業所と連携し安全で細やかなケアの提供をしています。また休日・夜間の緊急時に相談支援専門員と共に可能な限り訪問し対応します。研修会を通じて、スタッフのスキルアップや新しい情報の収集を図り、ケアに生かしていきます。

### ○ 生活介護オレンジ2

オレンジのご利用者の方のうち、医療的ケアの必要なお利用者を中心に活動します。看護師の複数配置により、より安全で快適な空間を目指します。

### ○ ぶるーむカフェ

「喫茶コーナー」「図書コーナー」「会議スペース」等、子どもから大人まで誰でも自由に過ごせる地域の居場所です。コーヒーや読書や会話など、それぞれの時間を楽しんでいただけます。また柏市内の多数の就労支援事業所の農産物、制作物等の委託販売をしています。新型コロナウイルス対策として不特定の方が集まる場所なので、緊急事態宣言時には休所し、解除時には感染防止対策を徹底しながら開所します。

### ○ 風らっとるーむ

まちの保健室として、気軽に日々の悩みや困り事の相談を受けるあなたにとってのもう一つの居場所です。来所、電話どちらでも受けています。また当事者とご家族およびボランティアの交流の場として、親おやカフェ（不登校・引きこもりの方）・育カフェ・がんカフェ等を企画しています。

### ○ ぶるーむの風診療所

「まちのかかりつけ医」として子供から大人まで、ご家族みんなの健康を支えます。小児神経および発達障害の専門医として発達障がい専門外来日を設けています。診療科目：小児科・発達外来、内科、予防接種、乳児健診など。コロナ禍における発熱外来、PCR検査、ワクチン接種など地域の感染予防対策の一翼を担っています。

#### 4. 会議体

##### 定例会議

部門長ミーティング	毎月	部門毎の活動報告、提案および決定
スタッフミーティング	毎月	事業所毎にスタッフ全員周知
ヘルパーミーティング	毎月	アライブヘルパー全員周知
リスク管理委員会	隔月	各事業所管理者(ひやりはつと報告)
虐待防止委員会	隔月	各事業所虐待防止マネージャー

##### 監査・役員会議

監事監査	5月予定
理事会	5月・2月予定
評議員会	6月・3月予定

#### 5. 広報活動

ホームページ	URL <a href="http://bloom.or.jp/">http://bloom.or.jp/</a> 毎月更新
広報誌「ぶるーむ通信」	年3回発行
笑福祭	令和4年度4月開催予定
ちいきの庭公開 (ぶるーむの森と風)	柏市カシニワ制度

以上